

分科会開催報告書

報告日	平成 28年 8月4日	報告者	小幡友子 兒玉國宏																													
分科会名	浮雲俳句会	開催テーマ	第101回浮雲俳句会例会																													
開催日時	平成28年 7月31日 午前 9:30~11:30	開催場所	能見台地区センター 多目的室B																													
参加人数	“わ”の会会員 男 12名	女 5名	合計 17名 欠席者 0名																													
<p>実施内容</p> <p>第101回例会の出句は兼題 ①芦ノ湖 ②晩夏の人事（農耕から）と当季雑詠の4句。 句会は、大川一馬会員による添削披露及び片岡三洋会員による選句の披講の後、北野主宰から天・地・人賞及び特選5句並びに佳作9句の発表と、夫々の句についての論評があった。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">天賞句</td> <td style="width: 60%;">頂きにケルンを置きて下山せり</td> <td style="width: 25%;">一 幸</td> </tr> <tr> <td>地賞句</td> <td>宵山の明かりと囃子古都を継ぐ</td> <td>和 女</td> </tr> <tr> <td>人賞句</td> <td>芦ノ湖に海賊船のカーニバル</td> <td>三 洋</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">特選句</td> <td>芦ノ湖や龍の出そうな夏の霧</td> <td>重 九</td> </tr> <tr> <td>烏賊釣り火観光バスの窓に散る</td> <td>一 馬</td> </tr> <tr> <td>風鈴のひとり遊びか夜のしじま</td> <td>とも女</td> </tr> <tr> <td>半睡の部屋に日がさし明け急ぐ</td> <td>勇 平</td> </tr> <tr> <td>鎮もれる深き思ひや夏木立</td> <td>十 九</td> </tr> </table> <p>主宰の指導 ○語呂をよくするために語順の工夫をするように。</p> <p>会員選高点句</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">6点句</td> <td style="width: 60%;">芦ノ湖の藍深めけり晩夏光</td> <td style="width: 25%;">一 清</td> </tr> <tr> <td>6点句</td> <td>ちぬ量る眉の高さに棹秤</td> <td>一 清</td> </tr> <tr> <td>6点句</td> <td>打ち水や下駄の音する神楽坂</td> <td>二 祥</td> </tr> </table> <p>次回の予定 平成28年8月28日（日）午前 9時30分～11時30分 能見台地区センター 第102回例会 兼題：①浜名湖 ②初秋の宗教 披講：國眼</p> <p>その他 ○毎月の分科会報告書は「わ」の会のホームページを開くと載せてあるので閲覧できる。</p>				天賞句	頂きにケルンを置きて下山せり	一 幸	地賞句	宵山の明かりと囃子古都を継ぐ	和 女	人賞句	芦ノ湖に海賊船のカーニバル	三 洋	特選句	芦ノ湖や龍の出そうな夏の霧	重 九	烏賊釣り火観光バスの窓に散る	一 馬	風鈴のひとり遊びか夜のしじま	とも女	半睡の部屋に日がさし明け急ぐ	勇 平	鎮もれる深き思ひや夏木立	十 九	6点句	芦ノ湖の藍深めけり晩夏光	一 清	6点句	ちぬ量る眉の高さに棹秤	一 清	6点句	打ち水や下駄の音する神楽坂	二 祥
天賞句	頂きにケルンを置きて下山せり	一 幸																														
地賞句	宵山の明かりと囃子古都を継ぐ	和 女																														
人賞句	芦ノ湖に海賊船のカーニバル	三 洋																														
特選句	芦ノ湖や龍の出そうな夏の霧	重 九																														
	烏賊釣り火観光バスの窓に散る	一 馬																														
	風鈴のひとり遊びか夜のしじま	とも女																														
	半睡の部屋に日がさし明け急ぐ	勇 平																														
	鎮もれる深き思ひや夏木立	十 九																														
6点句	芦ノ湖の藍深めけり晩夏光	一 清																														
6点句	ちぬ量る眉の高さに棹秤	一 清																														
6点句	打ち水や下駄の音する神楽坂	二 祥																														